



東京PCB廃棄物処理事業だより(No.1)

ごあいさつ

日本環境安全事業株式会社（JESCO）はPCB廃棄物の処理を行うため、平成16年4月1日に100%政府出資により設立されました。昭和49年に製造や新たな使用が禁止されて以来、PCB廃棄物は約30年にも及び長期保管を余儀なくされてきましたが、平成13年に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が制定されPCB廃棄物の保管事業者は平成28年までに処理することを義務づけられました。

JESCOでは、国の監督と施設設立自治体の指導監督のもと、全国5カ所に処理施設を設置し、全国で保管されているPCB廃棄物の処理を行います。

昨年8月の起工式より建設を開始いたしました東京PCB廃棄物処理施設も、皆様のご理解、ご協力のもと11月の操業に向け順調に工事を進めております。

私どもは、本事業を進めていく上で、処理の安全の確保と情報公開の推進を大きな柱と考えております。

今後は、本紙において、事業の進捗状況や地元に関連する取組状況を皆様にお知らせし、安全で確実な処理を目指し、より一層の努力を続けて参りますので宜しくお願い致します。



PCBとは



Polychlorinated Biphenyl（ポリ塩化ビフェニル）の略称で工業的に合成された化学物質です。

熱で分解しにくい、電気絶縁性が高い、燃えにくいなど化学的に安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙などさまざまな用途に使われていました。

PCBによる汚染が問題となり、昭和49年には製造や新たな使用が禁止されています。

PCBが使用されている代表的な電気機器としてトランス（変圧器）、コンデンサ（蓄電器）、安定器などがあげられます。

東京PCB廃棄物処理施設について

東京PCB廃棄物処理施設は、国が定めたPCB廃棄物処理基本計画に基づき、埼玉県・千葉県・東京都神奈川県の一都三県の区域内に保管されているPCB廃棄物処理のために、東京都江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）に建設を進めております。

東京PCB廃棄物処理施設の主な設備は、高圧トランス・高圧コンデンサ、安定器等のPCB除去・分解処理設備、東京都内分の柱上トランスの絶縁油のPCB分解処理設備、これら処理設備の安全な運転、処理の確認、排出モニタリング等を行う管理設備、PCB処理施設の状況を積極的に情報公開するための、見学情報公開設備からなっています。

完成予想図



処理能力	: 2トン/日（PCB分解量）
処理の開始予定	: 平成17年11月
処理の完了予定	: 平成27年3月
処理対象物	: 高圧トランス、高圧コンデンサ、安定器等 柱上トランスの絶縁油（東京都内分）
構造	: 鉄骨造地上5階建
建築面積	: 約13,000㎡
延床面積	: 約37,000㎡
建物高さ	: 約40m

東京PCB廃棄物処理施設工事進捗状況



現在、工事は最終段階を迎えており、今後各官公署の検査を受検し、計画どおりの施設ができていることを確認していただきます。

また、試運転として6月には機器の単体の動作確認、7月には模擬PCB廃棄物を使用した負荷運転、8月中旬からはPCB廃棄物を使用した負荷運転を行います。

この試運転では、東京PCB廃棄物処理施設に求められる性能保証事項が満たされていること、廃棄物の処理が安全で確実にいえることを確認し、作業従事者の教育や訓練を行ないます。

PCB廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会

JESCOでは、専門の知識と経験を有する学識経験者からなる「PCB廃棄物処理事業検討委員会」（委員長：永田勝也早稲田大学理工学部教授）を平成13年10月に設置し、PCB廃棄物の処理技術や、環境安全対策を検討し、報告書としてとりまとめを行っております。

また、検討委員会の下に「東京事業部会」（主査：永田勝也早稲田大学理工学部教授）を平成14年10月に設置し、処理方式や環境・安全対策等について地域の状況を踏まえた検討を行なっておりまいた。今後、事業運営段階においてもアドバイス等をいただくこととしてい

ます。これまで検討委員会、事業部会でとりまとめた報告書についてはJESCOのホームページにて公開しております。

平成17年4月5日（火）に世界貿易センタービルにおいて開催された事業部会では「作業従事者の安全管理」について審議され、その内容を反映させ近いうちに報告書としてとりまとめ、掲載する予定です。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会



JESCOでは、事業運営に関する情報を共有し、相互に意見交換をすること等により、常に安全性を検証しつつ安全で信頼される事業推進を図ることを目的として、住民代表、行政（江東区、東京都）、専門家、及び事業主体（JESCO）からなる「東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会」（委員長：中杉修身上智大学大学院地球環境学研究科教授）を設置していま

す。平成17年4月13日（水）に住友不動産東陽駅前ビルにおいて「第4回環境安全委員会」が開催され、PCB廃棄物を施設に搬入する際に遵守しなくてはな

らない「東京PCB廃棄物処理施設に係る受入基準等」について審議し、承認をいただきました。これまでの委員会の資料、受入基準等についてはJESCOのホームページに掲載しております。

✚ 施工者よ一言

本工事は、土木建築を鹿島建設、高濃度プラント（高圧トランス・コンデンサ、安定器等）を三菱重工業・類設計室異工種JV、低濃度プラント（柱上トランス）を東電環境エンジニアリングが担当し、厳しい工事工程ではありますが、各社協力して安全第一で取り組んでおります。

昨年の着工以来、無事故、無災害で工事は推進され、5月13日には当初計画とおり受電を終え、現在、工事としては最終段階を迎えており、今後、官公署の検査を受け、試運転に入っております。今後とも、引渡しに向け、安全且つ安心なPCB廃棄物処理施設の完成のため関係者一同、邁進努力していく所存であります。

三菱重工業・類設計室異工種建設工事共同企業体



日本環境安全事業株式会社東京事業所

〒105-0014 東京都港区芝1-7-17 住友不動産芝ビル3号館4F

TEL 03-5765-1935

FAX 03-5765-1941

<http://www.jesconet.co.jp/>

なお、東京事業所は平成17年7月1日に下記に移転を予定しています。

〒135-0064 東京都江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）